

(様式5)

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年 3月 15日

事業所名 とももプラス盛岡教室

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7	0	・最低限の活動スペースは確保している。	・子どもの年齢や人数、遊びによっては狭く感じることもあるので、内容を考えながら遊ぶことも必要。
	2	職員の配置数は適切であるか	7	0		・職員が欠席になった場合大変な時もあるので、職員数を増やす予定。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6	1		・写真を付けるなどして視覚的に分かるものを多くしていく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	6	1	・毎日の掃除、消毒(ドアノブや遊具等)の徹底。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	7	0	・職員会議、ケース会議は全職員が参加するようにしている。 ・その日の振り返りでの情報共有やヒヤリハットの確認をしている。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7	0		・職員間で確認の場を設け、改善に繋げていきたい。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	2	・ホームページにて公開している。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	4	・定期的に事業所本部からの巡回指導を受けている。	・事業所本部による巡回はあるがその後のフィードバックにまで至っていないためその機会を設けたい。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	1	・事業所本部からの毎月の研修を受講している。	・外部研修にも積極的に参加していく。 ・全員による研修の年間計画を作成する。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	6	1	・保護者の要望も踏まえ作成している。 ・職員間で話し合い作成している。	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	2		・保護者に記入してもらった後にアセスメントの付け直しを行っていく。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5	2		・ガイドラインを全職員に周知していく。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	6	1	・計画に沿った支援ができるよう職員間でケース会議で共有している。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	1	・長期休みの行事等職員で話し合い決めている。	・その日の活動内容は個人で決めているので話し合って色々な意見を取り入れながら行っていく。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7	0	・子どもの様子に配慮しながら行っている。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	6	1	・子どもの状況に合わせて作成している。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	2	・その日の流れや役割分担の確認を行っている。	・個々の支援内容も確認していく。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7	0	・毎日振り返りを行い気付いた点を話し合っている。そのことを次の支援に繋げていきたい。	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	1	・毎日の様子を記録している。	・さらに分かりやすく把握できるものがあるとよい。
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	7	0	・全職員でモニタリング会議を行っている。	・効率よく進めていけるようにしていく。
関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7	0	・決まった人が参加しその後情報共有している。	
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	2	5		・密な連携にまでは至っていない。 ・今現在以上に連携していくことも必要。
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	2	5		・現在対象者はいないが今後連携できるように準備しておく必要はある。
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	2	3		・現在対象者はいないが素早く対応できるマニュアルが必要。
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	3	4		・送迎時に情報共有はしているが移行支援にまでは至っていない。
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	2	5		・できていないケースがほとんどなので実施していく必要に応じて情報共有を丁寧に行っていく。
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	4	・研修等があり参加できる時にはしている。	・連携にまでは至っていない。
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	4		・なかなか交流する機会はない。
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	2	5		・参加できていない。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	30	6	1	・様子について、送迎時に口頭やHUGシステムにて伝えている。	
	31	2	5		・助言をすることはあるが専門的なスキルを身につけていくことが必要。
保護者への説明責任等	32	7	0	・契約時に説明している。	
	33	5	2	・面談を行い説明している。	
	34	7	0	・分かる範囲で相談を受けたり助言している。	・保護者と相談しながら進めていく。
	35	4	1	・今年度は茶話会を1回実施した。	・連携の支援にまでは至っていないので、今後も定期的に開催するようにしたい。
	36	7	0	・相談や申し入れがあった時には素早く対応するよう心がけている。	
	37	7	0	・毎月おたよりの発行をしている。 ・定期的に、ブログ、フェイスブックの更新をしている。	・HUGシステムを有効的に活用していく。
	38	7	0	・研修等で子どもの事例を使う場合は保護者の承諾を得ている。	
	39	6	1	・本人に分かりやすいような伝え方に配慮している。	
	40	2	5		・地域との交流はほとんどない。地域の行事等で参加できるものがあれば参加していきたい。
	非常時等の対応	41	4	3	
42		6	1	・年2回避難訓練を実施している。	・地震・火事のための訓練となっているためその他の災害についての訓練も実施していく。
43		6	1		・服薬、てんかん発作の確認はしているが予防接種についての確認はしていない。
44		6	1	・アレルギーの有無について保護者から確認している。	・医師の指示書については確認が必要。
45		7	0	・毎月職員会議で共有している。	・防止策の共有までできていないケースもあるので随時行っていく。
46		6	1	・事業所本部からの研修を受講している。 ・年1回以上の虐待防止委員会を実施している。	・外部での研修にも参加していく。
47		7	0	・支援計画に記載している。	・改めて身体拘束について職員間で確認することが必要。